

科目名	科目担当代表教員	ページ数
日本国憲法	池田 杏奈	2
マーケティング論	芝 香	7
国際関係論 I	渡部 淳	12
国際関係論VI	渡部 淳	17
日本語の表記と語彙	小西 正人	22
日本語学	小西 正人	27
日本語表現技法 II	矢部 玲子	32
ホスピタリティ論	小山田 健	37
異文化理解論 I	渡部 淳	42
地域研究 I	Richardson Peter	47
地域研究 II	Walzem Allen George	52
地域研究IV	渡部 淳	57
英語多読I	高橋 保夫	62
教職実践演習(中・高)	常田 拓孝	67

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教養科目 教養科目					
科目名		日本国憲法				ナンバリング	1120
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	池田 杏奈						
授業の位置づけ							
人間社会のルールの一つである日本国憲法を学ぶことにより、幅広く教養を身につける科目である。							
授業の概要							
民主主義(国民主義)と基本的人権の相関関係を明確にするとともに、なぜ「憲法」が国家の最高法規とされるかを理解することを目指す。次いで、日常生活の場面で生じる様々な紛争解決する手段としての裁判の意義、システムを学び、同時に法解釈の手法を考察する。以上の基本的な知識を修得した上で、日本国憲法の本質と構造を(明治憲法との比較を含め)大枠で理解するよう努める。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本国憲法を最高法規とする我が国の法体系について説明できる。 2. 様々な基本的人権について概要を述べるができる。 3. 法というルールを介して、社会人としての関係形成、問題解決の方法、変化する社会への対応など、我が国において生きていく上で生じ得る問題について自ら考え、論じることができる。 							
授業の方法							
パワーポイント及び配布印刷物を活用しながら講義形式で進める。 各講義中に毎回コメントシート(授業についての振り返り、思ったこと、疑問等を記述したもの)を提出する。 確認テストを時間内に行う(全15回)。提出方法についてはGoogle フォームを併用できるようにする予定である。							
ICT活用							
Google フォームのテスト作成機能を用いて練習問題を提供し自主学習を促す。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし。

課題に対するフィードバックの方法

フィードバックとして理解度確認テストを実施後、解答の解説を行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【ガイドンス・裁判制度】 担当教員の自己紹介、授業の概要、予習と復習の方法、成績評価についての説明を行う。 日本の裁判制度の概要について学ぶ。	教科書を事前に購入し、「読者のみなさんへ」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第2回	【子どもの人権】 校則を題材にして「子どもの人権」について解説する。	授業前に教科書を購入し、「Theme1 ブラック校則——子どもの人権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第3回	【外国人の権利】 法律上「国民」とは誰を指すのかを知り、「外国人」との権利の違いについて学ぶ。	「Theme2 欲しいのはまず選挙権——外国人の権利」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第4回	【プライバシー権】 プライバシーとはどういうものとして、法律上どのように保護されているかを学ぶ。	「Theme3 わたしの秘密——プライバシー権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		

第5回	【自己決定権】 自己決定権は憲法によってどのように保障されているのかを学ぶ。	「Theme4 何の自己決定か？——自己決定権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第6回	【法の下での平等】 以前の民法や刑法の条文を題材に、「法の下での平等」について学ぶ。	「Theme5 再婚は100日後——法の下での平等(1)」「Theme6 むかし親殺しありき——法の下での平等(2)」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第7回	【信教の自由】 「信教の自由」を保障している条文の構造を理解し、保障の限界について判例を基に学ぶ。	「Theme7 法廷の宗教戦争——信教の自由」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第8回	【表現の自由】 「表現の自由」が日本国憲法の保障する人権の中でもとりわけ重要度の高いものといわれる理由を考察し、どのような表現の自由であっても保障されるのかということについて考える。	「Theme8 ポルノの権利——表現の自由(1)」「Theme9 人殺し教えます——表現の自由(2)」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第9回	【営業の自由】 営業の自由はどのように保障されているかを学び、どのような場合に制限されるかについて考える。	「Theme10 銭湯の楽しみ——営業の自由」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第10回	【生存権】 憲法25条が保障する「健康で文化的な最低限度の生活」とはどのような生活を指すのかについて考える。	「Theme11 クーラーのない生活——生存権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		

第11回	【教育権】 学校で子どもたちに教えられる教育の内容を決定できるのは誰であるかについて、判例を基に学ぶ。	「Theme12 教科書はつらいよー教育権」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第12回	【死刑制度】 死刑制度の是非について憲法の視点から考える。	「Theme13 罪と罰のはて——死刑制度」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第13回	【国会・内閣・裁判所】 日本国憲法が採用する「二院制」について学び、「国会」の役割について考える。 内閣総理大臣はどのようにして選ばれるのかについて学ぶ。 裁判に関する諸権利について学び、裁判員裁判について考える。	「Theme16 両院は車の両輪——国会(1)」「Theme17 民の声 vox Dei?——国会(2)」「Theme18 首相の選び方——内閣」「Theme19 裁判はだれのために——裁判所」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第14回	【天皇・平和主義】 明治憲法下での天皇と現行憲法の天皇の違いについて学ぶ。 憲法9条と自衛隊の関係について考える。	「Theme14 皇室外交?——天皇」「Theme15 人権の条件——平和主義」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
第15回	【地方自治・憲法改正・まとめ】 地方自治とは何かについて学ぶ。 憲法改正の手続きと憲法改正の限界について学ぶ。	「Theme21 住民投票で決着を!——地方自治」「Theme22 憲法の変身——改憲の可能性」を読んでおく(90分)。	講義内容について復習し、コメントシートで記入した内容について改めて考える(90分)。
担当教員	池田 杏奈		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業内で実施する確認テスト、授業への参加態度、授業中で提出するコメントシート(全15回)により評価する。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>なし。</p>
<p>教科書</p>		
<p>いちばんやさしい憲法入門〔第6版〕／初宿正典、高橋正俊、米沢広一、棟居快行／有斐閣</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>講義中に適宜紹介する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>特になし。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

学部・学科	外国語学部 国際言語学科						
区分	専門科目 専門科目						
科目名	マーケティング論					ナンバリング	3434/3676
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	芝 香						
授業の位置づけ							
<p>グローバル経済が進展した現代において、経済環境や競争環境、雇用や働き方なども急激に変化している。このような激しく環境が変化する状況化では柔軟にその変化に対応できることが企業や個人にも求められており、戦略志向やマーケティング志向を身につけた人材が社会全体のなかで必要とされている。本科目は、ディプロマ・ポリシーの「目指す業界が求める技能に習熟し、実践の場で活用することができる」ことに関係する科目であり、世界や地域社会を理解し、外部環境の変化を分析するマーケティング志向を学ぶことで、社会人としての基礎力を身につける科目である。</p>							
授業の概要							
<p>この授業は、マーケティングの基本を学んだ上で、「21世紀型マーケティング」の概念を学ぶ。マーケティングの歴史とコンシューマリズムを踏まえ、マーケティングの神様と称されるフィリップ・コトラーの手法をベースに、実践的なマーケティング戦略を理解し、私たちの実際の生活の中でマーケティングがどのように生活に関わっているのかを学ぶ。</p>							
到達目標							
<p>本授業の到達目標は、以下の3点である。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 授業やテキストで取り上げたレベルのマーケティングの基本的な考え方を説明できる。 2) 企業の活動をマーケティングの視点で考え就職活動やグローバル社会で活躍するために応用できる。 3) 興味がある企業や業界について掘り下げて考え、自分なりに分析・説明できる。 							
授業の方法							
<p>授業では、パワーポイントと配布印刷物(ハンドアウト)を用いて、講義形式でマーケティングに関わる理論やケースに対する講義という順序で授業を進め事前課題の内容をテーマにしたケース・ディスカッション、グループ単位でのプレゼンテーションを行う。事後課題は、授業の内容についての振り返りなどを確認するGoogle Formsを用いた小テスト形式のクイズを提出を行い、授業への要望や疑問点、質問やメッセージには、GoogleClassRoomのコメント機能を用いて、フィードバックを行う。</p>							
ICT活用							
<p>本授業ではGoogleDirveやGoogle Docs、Office365などのクラウドサービスを中心としたOfficeツールを積極的に活用した授業を実施する。具体的には、GoogleClassRoomを用いて事前課題、事後課題を提出するなどの学習管理を実施し、課題にはGoogle SpreadやMicrosoft PowerPointでのプレゼンテーション資料の作成に取り組み、プレゼンテーションをグループ毎に発表するなどのアクティブラーニング型授業を実施する。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

経営コンサルタント業を自らが起業し、恵庭市での起業塾講師を行うなど十数年にわたりサービス産業を中心とした創業支援を行ってきた。また長らく大手旅行代理店の業務効率化支援(DX業務)を実務として支援した経験や企業経営幹部や創業希望者を対象としたビジネスゲームやケーススタディを用いたセミナー運営や人事採用担当であった経験を活かし、理論的な学びをベースとしながらも就職活動などで役立つ実践的な授業を行う。

課題に対するフィードバックの方法

事前・事後課題へのフィードバックとして、授業にて課題の解説を行う反転授業型のアクティブラーニングスタイルによるフィードバックで授業を実施する。また、授業への要望や疑問点、質問やメッセージには、GoogleClassRoomのコメント機能を用いてフィードバックを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	イントロダクションとして、マーケティング論の授業の概要と進め方を説明する。 マーケティングとは何か。マーケティングの発想と市場戦略としてのマーケティングの役割と課題について学ぶ。	「マーケティングとは」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第2回	環境分析(PEST、SWOT) 競合他社の動向や、政治や経済の変化など、自社の事業運営に影響をもたらす要因を分析する「外部環境分析」をPEST分析やSWOT分析のフレームワークを学ぶ。	「PEST分析、SWOT分析」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第3回	環境分析(Five Forces) 5つの視点から自社と競合他社の関係を明らかにしミクロ視点での外部環境を分析するファイブフォース分析のフレームワークを学ぶ。	「環境分析(Five Forces)」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第4回	事業戦略(STP) Segmentation(セグメンテーション)、Targeting(ターゲティング)、Positioning(ポジショニング)という3つの視点で市場における顧客やニーズを整理し、ターゲット市場を明らかにするSTP分析のフレームワークを学ぶ。	「事業戦略(STP)」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		

第5回	第2回～第4回で学んだフレームワークを用いたケース・ディスカッションを行う。	第2回～第4回で学んだフレームワークを復習しておく。(90分)	ケース教材を提示するので、第2回～第4回で学んだフレームワークを用いて各自で分析を行いレポートを作成する。(120分)
担当教員	芝 香		
第6回	マーケティング戦略(製品と価格) マーケティング戦略におけるマーケティングミックスの考え方である4P(「製品(Product)」「価格(Price)」「流通(Place)」「プロモーション(Promotion)」のうち、「製品(Product)」「価格(Price)」の戦略について学ぶ。	「製品戦略、価格戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第7回	マーケティング戦略(広告) マーケティング戦略におけるマーケティングミックスの考え方である4P(「製品(Product)」「価格(Price)」「流通(Place)」「プロモーション(Promotion)」のうち、「プロモーション(Promotion)」の戦略として広告戦略、パブリシティ戦略について学ぶ。	「広告戦略、パブリシティ戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第8回	マーケティング戦略(チャネル) マーケティング戦略におけるマーケティングミックスの考え方である4P(「製品(Product)」「価格(Price)」「流通(Place)」「プロモーション(Promotion)」のうち、「プロモーション(Promotion)」戦略としてのチャネル戦略を学ぶ。	「チャネル戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第9回	マーケティング戦略(プロセス) これまでに学んだマーケティング分析のフレームワークをより効率的に分析するための一連の流れとしての手順や考え方を学ぶ。	「マーケティングプロセス」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第10回	第6回～第9回で学んだフレームワークを用いたケース・ディスカッションを行う。	第6回～第9回で学んだフレームワークを復習しておく。(90分)	ケース教材を提示するので、第6回～第9回で学んだフレームワークを用いて各自で分析を行いレポートを作成する。(120分)
担当教員	芝 香		

第11回	顧客関係の構築(リレーションシップ) 顧客と良い関係を築いて距離を縮め、結果的に商品やサービスの成約率を向上させるリレーションシップ・マーケティングについて学ぶ。	「顧客関係の構築」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第12回	消費者行動 企業が提供する製品やサービスを購入・利用する人々(=消費者)が、一つの商品の購入に至るまでの行動について、購買行動モデルの考え方について学ぶ。	「消費者行動」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第13回	ブランド戦略 企業の製品やサービス、あるいは企業そのもののコンセプトを明確にして、「誰にどんな場面で使ってほしい製品なのか」「自分たちはどんな企業なのか」をユーザーにわかりやすく提示するブランディングの考え方を学ぶ。	「ブランド戦略」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第14回	リーンキャンパス 9つの項目からビジネスモデルをまとめるフレームワークである「リーンキャンパス」の考え方を応用することで、これまでに学んだマーケティング戦略を活用した実践的なマーケティング戦略の立案手法について学ぶ。	「リーンキャンパス」とインターネットなどで検索して自分なりに基本的な事項を調べて学習しておく。(90分)	講義で学習した内容を確認し、キーコンセプトとなる用語やフレームワークについての意味と使い方を説明できるようにする。(90分)
担当教員	芝 香		
第15回	第14回で学んだフレームワークを用いたケース・ディスカッションを行う。	第14回で学んだフレームワークを復習しておく。(90分)	ケース教材を提示するので、第14回で学んだフレームワークを用いて各自で分析を行いレポートを作成する。(120分)
担当教員	芝 香		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない。	
定期試以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	85	事前・事後課題の内容とグループワークなどの授業参加の積極性やプレゼンテーションを総合的に評価する。 したがって、課題を提出しない場合には出席日数が規定を充たしていても不合格となる場合があることに留意すること。	

<p>その他</p>	<p>15</p>	<p>特に授業参加の積極性を評価する。</p>
<p>教科書</p>		
<p>必要に応じて配布資料を提示する。</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>授業内で資料を提示する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>本科目は社会人として就業する力を身につけるための科目として位置づけられている。したがって、授業では事前課題をテーマにしたケースディスカッションやグループワークやプレゼンテーションを行う予定もあり、授業開始前までに理解を深めるために事前課題に必ず取り組み期限までに提出すること、欠席する予定の場合は事前に、急遽欠席した場合は事後にメールやGoogleClassRoomを通じて連絡や報告を必ず行うことを履修条件とする。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		国際関係論 I				ナンバリング	3612
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 淳						
授業の位置づけ							
この授業は「問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を下せるようにするための科目である。グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や共感力を備えている。(関心・意欲・態度)」や「北海道、日本及び世界諸地域の課題とその分析や解決を考えることのできる、世界諸地域の言語、政治、経済、社会、文化等の国際教養を身につけている。(知識・技能)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、世界の理解と分析の基礎となる国際関係の諸理論と問題領域を学びながら、国際関係論の基本的な分析枠組みと言語の習得を目指し、国際関係分析の理論的枠組みの骨格をつかむことを狙いとしている。まず、国際関係論の主要理論である現実主義・自由主義や、それらに批判的な見方を紹介し、諸理論の視点から現代世界の諸問題をどのように理解することができるのか、人類が抱える具体的な諸問題を安全保障、経済、国際協力、資本主義などのテーマで具体的に検討していく。							
到達目標							
国際関係論の世界認識では、アクター(行為主体)間の異なる問題領域での多様な関係性の変化への理解が求められる。この授業では、学生が、安全保障、外交、開発、環境などの具体的な分野における、国家・国際機関・NGO・多国籍企業そして先進国市民社会の相互関係、また各アクターの役割の変化などを学習することで、刻々と変化する国際情勢を自分の力で考える、認識枠組みと分析方法の基礎を獲得することを到達目標とする。							
授業の方法							
印刷配布物や視聴覚資料を用いて講義形式で進める。 授業で得た知識や自分で調べた情報をもとに、自らの考えをまとめるレポートを書かせる。 授業全体の理解度、応用力、独自の考えが生まれたのかを小論文で確かめ、そのフィードバックを行う。							
ICT活用							
関連する国家や国際機関、NGOなどのホームページ、動画等。動画等の視聴による自主学習支援。							
実務経験のある教員の教育内容							

課題に対するフィードバックの方法

代表的なレポート課題や小論文などを抽出し、それらについてコメント・講評などを行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	・導入～「世界とは何か、世界をどう見るのか？」 国際関係論の学問的使命とは、「世界」とは何か、それをどのように認識する(べきな)のか、という認識の枠組みを提供することである。グローバル化のプロセスを、どのように読み解けばいいのか、国際関係論の「理論」はその手がかりを提供する。各学生は自分の関心のある分野や問題についてプレゼンする。	シラバスを良く読み自分の問題意識を整理すること。自分の関心事のプレゼンの準備(90分) 配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第2回	<第1部 理論> ・理想主義 Idealism～戦間期と国際連盟の挫折 第1次世界大戦の反省から、世界平和は人類の宿願となり、国際連盟のような制度、規範などが整備されたが、人類は再び戦争へと突き進む。E・H・カーなど戦間期の思想をてがかりに、国際制度主義や自由主義などに影響した、理想主義の射程と限界を具体的に考察する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第3回	・現実主義 Realism～第2次世界大戦の痛みと記憶 国際関係論の古典的主要理論の1つで、現在も米国など大国の外交の思考様式に隠然とした影響力を持つ現実主義。Realismの射程は、主に米国で展開する。パワーの概念という国際関係論にとって主要な命題の1つをめぐって、モーゲンソーらの論考を中心に検討する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第4回	・自由主義 Liberalism～多元化・経済化する世界 戦後世界が安定し、国際貿易が増大する中で、多国籍企業や国際機関などのアクターの台頭と、経済・市場分野の重要性の「政治化」は、現実主義より経済化した認識を必要とする。相互依存やトランスナショナルリズムなど、自由主義の系譜をコヘインらの認識から考察する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			

第5回	<p>・トランスナショナルイズム Transnationalism～越境する現代トランスナショナルイズムは、越境する政治・経済・文化・市民・運動などを見るグローバル化の「見立て」として中心的な認識枠組みを提供する。現象と理論の両方からグローバル化を考える。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第6回	<p>・グローバリズム Globalism～「下から見た世界」の構造 現実主義と自由主義の視点が、力を持った「上からの視座」であるとする、マルクス主義国際関係理論は、開発や経済的支配について「下からの視座」である南北格差の問題意識を強調する。従属論、帝国主義論などのグローバリズムの理論群を、市場と資本主義の観点から整理する。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第7回	<p>・批判理論とその周辺 Critical Theory グローバリズムの系譜による分析が「経済主義」であるのに対して、批判理論やポスト構造主義以降の議論、特に社会構成主義やネオ・グラムシ国際関係論は、人々が持つ「概念」「常識」などの力が支配、およびその支配への申し立てに果たす役割を強調する。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第8回	<p><第2部 問題領域～現実の中で理論を考える> ・安全保障と外交 Security and Diplomacy 現実主義から見る安全保障は軍事のことであり、自由主義の射程はそこに経済を加える。いずれも国家の安全保障を重視するのに対し、批判的な諸理論は個人や「人間の安全保障」を唱える。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第9回	<p>・環境問題 Environmental Issue 環境問題や環境汚染には国境がない。二酸化炭素の排出による、オゾン層の破壊や地球温暖化や北極海の氷の現象は、地球規模の気象メカニズムを通じて全世界に深刻な打撃を与える。知的共同体やNGO・国際機関の役割など環境問題の多面性を考察する。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第10回	<p>・IT技術とコミュニケーション革命 IT Revolution of Communication グローバル化の特徴として情報技術の飛躍的進歩による、世界のシンクロ化が挙げられる。米国の軍事技術から出発したインターネットは、国際NGOのようにこれまで国境で区切られていた市民とその運動をつなぎ、同時に、テロリストの広がりも助けていることを学ぶ。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			

第11回	・グローバル市場 Global Market 情報化によって最も恩恵を受けた領域は経済、特に金融を中心としたグローバルな市場である。国家や社会は相当程度市場化され、グローバル市場を経由して瞬時に連結する。現代のガバナンスのメカニズムにおいて、台頭する経済権力や権威に着目する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第12回	・南北格差と開発 Division and Development 開発援助の分野ほど、多様なアクターが複雑に絡み合う問題領域もないかもしれない。先進国・途上国・国連・NGO・多国籍企業…異なる利害と立場が交錯する開発の領域を事例に、現代の国際関係のダイナミズムを検討する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第13回	・文化の力 Power of Cultures とかく軍事と経済のいわゆるハードな問題に偏りがちな国際関係論にあって、文化の問題は比較的新しく魅力的で、同時に悩ましい領域である。アイデンティティーに深く関わりを持つ、言語、民族、宗教などのネットワークは、理論が考えるよりも大きな世界変化の動因となっていることを学ぶ。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第14回	<第3部 あなたの国際関係論> ・小論文による理解度と応用力の確認 国際関係論において、どの理論が一番大事であるとか、どの問題領域が最重要である、ということはありません。何をどう選び、あるいは組み合わせ、世界のどこに焦点を合わせ、どう考えるかは一人ひとりの自由です。小論文で何を学んだか、考えたのか書く。	これまでの全ての授業の内容とそれに対する考えを自分なりに整理しておくこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第15回	・まとめ～「わたしたちの国際関係論と世界」 学生の皆さんから出された、いろいろな形の国際関係論から、私たちが世界をどう見ているのか、そして世界とのつながりをどのように感じているのか、一緒に考え議論しながら授業のまとめを行う。	自分の小論文をこれまでの授業内容から自分なりに評価してみること。(90分)	フィードバックを参考に自分なりにこの授業で得た知識を考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は行わない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業参加の積極性20% 課題提出状況50% 小論文形式のテスト30%	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>なし</p>
<p>教科書</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>本授業は1年次の必修科目である。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		国際関係論VI				ナンバリング	4813
配当年次	4年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 淳						
授業の位置づけ							
問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができる(思考・判断・表現) ための科目である。 「国際関係論I」「国際関係論II」「国際関係論III」「国際関係論IV」「国際関係論V」を発展させる。							
授業の概要							
The focus of this seminar is English, culture and international relations. It is designed to expose students to various forms of English artistic expression, grammar, and the field of second language acquisition. The course offers students a choice of five focus strands, namely; poetic techniques in English and Japanese poetry, the cultural aspect of English speaking countries, second language acquisition, generative grammar, and international relations. In each strand, students will investigate and analyze specific texts in the field of their interest. (And in some cases in contrast to and comparison with the techniques used in Japanese texts of the same genre). To do so, each student, in consultation with their tutor, will develop a program of study including the choice of texts/authors and a method of analysis of said texts culminating in written and/or presentation submissions.							
到達目標							
Upon completion of the course, students will be able to demonstrate a tangible understanding of the poetic devices used in the texts, issues related to teaching the English language, syntax as a science, and cultural and global affairs. Moreover they will be expected to show an appreciation of the methodology required to analyze such texts and will do so through the submission of written or presentation based assessment items.							
授業の方法							
This is a seminar class where students will watch DVD and read articles from handouts. Students will actively discuss and make presentations when asked. Teacher will give feedback through explanation and comments where necessary.							
ICT活用							
Relating websites and movie resources on the web.動画等の視聴による自主学習支援。							
実務経験のある教員の教育内容							

なし			
課題に対するフィードバックの方法			
Teacher will give feedback by commenting on common errors related to vocabulary, writing exercises, grammar and pronunciation.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	I. Introduction to the course including outlines of the five academic strands from which students may choose to focus. Each strand will include: the assessment procedure, the weekly schedule, the key elements to be studied, the academic context, and the learning objectives. Review the class activity. II. Evaluation of Summer research and Final Submission progress report.	Think about the topic of research and the points you want to study in depth. (90 minutes)	Prepare a written submission of topic and main points of research. (90 minutes)
担当教員			
第2回	I. Student`s written submission of their strand choice and learning objectives will be analyzed and they will make a program of study. II. Defining Final Submission key elements of research. Prepare according to the instruction for the next class.	Make a program of study for the research topic. (90 minutes)	Make needed changes based on teachers comments. (90 minutes)
担当教員			
第3回	I. Chosen Texts in regional or global context (Part 1) Including an analysis of the social and political factors pertaining to each region. II. Defining analysis methods to be used in Final Submission. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.	Read the handouts of Chosen Text. (90 minutes)	Do the required preparation for the next class. (90 minutes)
担当教員			
第4回	I. Chosen Texts in regional or global context (Part 2). Including an analysis of comparative culture and international relation. II. Final Submission progress report. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.	Review the major points discussed in class. (90 minutes)	Do the required preparation for the next class. (90 minutes)
担当教員			

<p>第5回</p>	<p>I. Cognition and Language Acquisition. (Part 1) Discussion on Syntax as a Cognitive science and Parts of Speech. Includes family language policies on children's bilingual acquisition. II. Final Submission analysis and consultation. Review the class activity. Prepare according to the</p>	<p>Review the major points discussed in class. (90 minutes)</p>	<p>Do the required preparation for the next class. (90 minutes)</p>
<p>担当教員</p>			
<p>第6回</p>	<p>I. Cognition and Language Acquisition (part 2) Discussion on English education in Japan and abroad, and importance of teaching prosody in English education in Japan. II. Final Submission analysis and consultation. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.</p>	<p>Review the major points discussed in class. (90 minutes)</p>	<p>Do the required preparation for the next class. (90 minutes)</p>
<p>担当教員</p>			
<p>第7回</p>	<p>I. History and Culture of English Speaking Countries (Part 1). Discussion on the history of the United States from the Pre-Columbian era II. Final Submission analysis and consultation. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.</p>	<p>Review the major points discussed in class. (90 minutes)</p>	<p>Do the required preparation for the next class. (90 minutes)</p>
<p>担当教員</p>			
<p>第8回</p>	<p>I. History and Culture of English Speaking Countries (Part 2) Discussion on national park management. II. Final Submission Progress Report. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.</p>	<p>Review the major points discussed in class. (90 minutes)</p>	<p>Do the required preparation for the next class. (90 minutes)</p>
<p>担当教員</p>			
<p>第9回</p>	<p>I. Generative Grammar (Part 1) Includes introduction and discussion of the Binding theory and the X-bar theory II. Final Submission analysis and consultation. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.</p>	<p>Review the major points discussed in class. (90 minutes)</p>	<p>Do the required preparation for the next class. (90 minutes)</p>
<p>担当教員</p>			
<p>第10回</p>	<p>I. Generative Grammar (Part 2) Introduction of verb movement, passives, and movement in wh-questions II. Final Submission analysis and consultation. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.</p>	<p>Review the major points discussed in class. (90 minutes)</p>	<p>Do the required preparation for the next class. (90 minutes)</p>
<p>担当教員</p>			

第11回	I. Rhetorical Devices and Poetics. (Part 1) Includes an analysis of the various rhetorical devices used in the chosen texts and will act as introduction to culturally specific factors in each text such as comedy, satire, metaphor, allegory, irony and subtext II. Final Submission progress report. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.	Review the major points discussed in class. (90 minutes)	Do the required preparation for the next class. (90 minutes)
担当教員			
第12回	I. Rhetorical Devices and Poetics (Part2) Comedy, satire, metaphor. II. Final Submission proofreading, editing, and/or performance critique 1. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.	Review the major points discussed in class. (90 minutes)	Do the required preparation for the next class. (90 minutes)
担当教員			
第13回	I. Rhetorical Devices and Poetics (Part 3) Allegory, irony and subtext. II. II. Final Submission proofreading, editing, and/or performance critique 2. Review the class activity. Prepare according to the instruction for the next class.	Review the major points discussed in class. (90 minutes)	Do the required preparation for the next class. (90 minutes)
担当教員			
第14回	I. Final Submission summer research plan evaluation. II. Final Submission proofreading and editing. Prepare according to the instruction for the next class	Review the major points discussed in class. (90 minutes)	Do the required preparation for the next class. (90 minutes)
担当教員			
第15回	I. Final Submission summer research plan and objectives due. II. Submission of Final Written paper and one to one analysis of the submission within the context of both the theory and the original agreed learning objectives.	Review the major points discussed in class. (90 minutes)	Review all the topics discussed in class. (90 minutes)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	なし
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Regular Submissions Written and/or Presentations 30% Final Submission 70%

その他	0	なし
教科書		
なし		
参考文献		
なし		
履修条件・留意事項等		
なし		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		日本語の表記と語彙				ナンバリング	1322/2262
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	小西 正人						
授業の位置づけ							
この授業は、目指す業界が求める技能に習熟し、実戦の場で活躍することができるようになるための科目であり、また4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することのできるようになる科目である。他の日本語系の科目と関連する。							
授業の概要							
この授業は、社会人基礎力に欠かせない正しい日本語表記を身に付け、場面や目的に合わせた語彙を増やしていく。講義と演習を組み合わせ、漢字検定あるいは日本語検定2級程度の漢字・表記・語彙・言葉の意味および公務員試験等で一般常識とされる日本語運用に関する漢字語彙の定着度を測る。本授業の漢字リテラシー基準には、常用漢字、人名・地名漢字、時事用語などの現代日本語漢字の正しい読み方と、四字熟語および諺・故事成語などの意味理解も含め、公的な場面で使える語彙を増やしことばの使い分けを身に付けていく。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会人基礎力となる一般常識とされる常用漢字が定着し、一般的な四字熟語が運用できるようになる。 2. 漢字のしくみを理解し、未知の漢字でも読み方を推測できるようになる。 3. 日本語の語彙を増やし、いろいろな表現で自己や出来事を知的に描写できるようになること。 							
授業の方法							
板書を通じた講義、グループワーク、プレゼンテーションを通じて15回の授業を行う。							
ICT活用							
Google classroomを活用し、授業補完情報(インターネットサイトなど)を報告したり、課題を出題・回収したりする。							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
小テスト等の提出物は全て採点して返却する。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション 授業のやりかた、発表のしかた、評価方法、この授業の意義などを丁寧に講義する。	シラバスを読んでおく(30分)	配布プリントを読み課題に取り組み、発表グループを決める(150分)
担当教員			
第2回	漢字のしくみ、音訓概講(講義) 漢検教科書 ステップ1~4 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語	教科書該当部分の問題を解く(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第3回	表記・送りがなについて(講義) 漢検教科書 ステップ5~8 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語	教科書該当部分の問題を解く(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第4回	常用漢字について(講義) 漢検教科書 ステップ9~12 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			

第5回	第1回漢字復習確認テスト(ステップ1～12)・語彙テスト 漢字熟語について(講義) ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解き、 復習確認テストの準備、担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第6回	漢検教科書 ステップ13～16 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第7回	漢検教科書 ステップ17～20 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	確認テストの準備、および教科書該当部分の問題を解く(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第8回	漢検教科書 ステップ21～24 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第9回	第2回漢字復習確認テスト(ステップ13～24)・語彙テスト ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解き、 復習確認テストの準備、担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			
第10回	漢検教科書 ステップ25～28 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、および教科書該当部分の問題を解く(90分)
担当教員			

第11回	漢検教科書 ステップ29～32 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解く(90分)
担当教員			
第12回	漢検教科書 ステップ33～36 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解く、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解く(90分)
担当教員			
第13回	カタカナ語(講義) 漢検教科書 ステップ37～41 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語 グループ発表	教科書該当部分の問題を解き、 担当者は発表の準備(90分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解く(90分)
担当教員			
第14回	人名・地名漢字(講義) 漢検教科書 ステップ総復習 ことわざ・慣用句・四字熟語・故事成語(配布プリント) グループ発表	人名・地名漢字について事前調 査、教科書該当部分の問題を 解く、担当者は発表の準備(90 分)	講義内容・配布プリント復習、お よび教科書該当部分の問題を 解く(90分)
担当教員			
第15回	第3回漢字復習確認テスト(ステップ25～41)・語彙テストお よび復習	教科書該当部分の問題を解き、 復習確認テストの準備(90分)	漢検教科書の総復習および最 終提出課題の準備(90分)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	定期試験は実施しません。
定期試験以外(授業内容の課題・ 参加度・出席態度等)	100	漢字復習確認テスト、毎回の小テスト、グループ発表、最終課題など各種課題、授業参加度の 総合評価

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>『漢検準2級 漢字学習ステップ 改訂三版』／日本漢字能力検定協会 『日本語検定公式領域別問題集 改訂版 語彙・言葉の意味』／畑 恵里子 (編集), 日本語検定委員会 (編集)／東京書籍</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>常用漢字表(文化庁) 『全訳 漢辞海 第四版』／戸川芳郎監修、佐藤進・濱口富士雄編／三省堂</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>とにかくいろいろ手を動かす作業をしてもらおうと思っています。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		日本語学				ナンバリング	2324/2274
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	小西 正人						
授業の位置づけ							
日本語について、ことばの専門家として必要不可欠な知識を修得し、正しい考え方を導く科目である。この科目は、問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を下すことができるための科目であり、また4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することができるようにするための科目である。他の言語・語学系科目と関連する。							
授業の概要							
この授業は、言語学的な考え方を基本として、現代日本語の文法に関するさまざまなトピックについて講義する。日本語についての知識を深め、英語(および言語)について実践に応用可能な知識及び技能を身につけること、および問題解決のために必要な情報を収集分析し、適切な判断を主体的に下すことができること、および学びの成果を社会人生活の中で活かすことを達成する科目である。なぜわざわざ日本語の文法構造を学ぶ必要があるのか、そもそも文法は必要なのかなどの疑問や批判に答え、日本語をはじめとする言語の精妙さを、現代日本語を通じて講義する。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 日本語について正しい視点を持ち、応用することができる。 2. 日本語について正しいデータ収集を行うことができる。 3. ことばに対して正しい分析を行うことができる。 4. 日本語(あるいはことば)に対する謬見を排除できる。 							
授業の方法							
板書と視聴覚メディアを活用しながら、講義形式ですすめる。また毎回ノート(課題および「さらに考えたこと」を含む)およびコメントシートを提出してもらい、理解度を確認する。							
ICT活用							
Google workspaceを活用する(Google Formでの設問・コメント収集、Google classroomを通じた情報提供など)							
実務経験のある教員の教育内容							

該当なし			
課題に対するフィードバックの方法			
毎回提出してもらったノートおよび授業に対するコメントを授業内でとりあげ、それぞれについて回答および示唆、参考資料の紹介などを行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	「タブラ・ラサからはじめよう！」～日本語学とは「主語」や「名詞」などといわれる文法は誰のためのものなのか？ということについて、それぞれ考えてもらう。データとして「文の中で出てくる他の語とのつながり」を示してグループ分けを行う。また「頭が赤い魚を食べたネコ」という句をもとに構文論についてもふれる。	日本語について考えてくる(90分)	授業ノートに「そのあと考えたこと」を書き込む練習(90分)
担当教員			
第2回	「ぜーいん、起立！」～日本語の「音」を探してみよう 自分の口はどんな音を出しているのか、発音しながら確認する。補足資料としてIPAのチャートを用いる。これにより日本語(あるいは言語)の音声についての基礎感覚を身につけることができる。	日本語のサ行とハ行について考えてくる(90分)	課題として与えられたIPAを発音できるようにしてやる(90分)
担当教員			
第3回	「トマトの反対はトマト？」～日本語のアクセント 2音節語を中心に、日本語のアクセントの概要について自覚的になることができる。データとして2音節語のリストを用い、学生自らの内省をもとに分類を行ってもらう。おまけとして方言および歴史的なアクセントについての話を行う。	「～ちゃん」のアクセントについて考えてくる(90分)	「〇〇県」と「〇〇」のアクセントについてまとめる(90分)
担当教員			
第4回	「塗り薬、粉薬、咳止め薬、便鼻薬」～日本語の形態論 無意識に用いている「語より小さい単位」が組み合わさることにより、生産的にいろいろなことを表すことができるようになることを実感/確認できる。また世界の言語について「長い語」の紹介を行う。	長い語を見つけてくる(90分)	日本語における蔓苔桃形態素を自力で見つける(90分)
担当教員			

第5回	「動詞は動作を表す語？」～日本語の品詞について そもそも名詞や動詞という分け方は誰のためのものか、という視点を徹底することによって、自分が母語話者として使っている無意識の「品詞分類」を実感することができる。第1回の授業をさらに進めた内容。	品詞はあったほうがいいかないほうがいいか、主張およびその理由を考えてくる(90分)	品詞分類におさまりきらない語をみつける(90分)
担当教員			
第6回	「壊したんじゃない、壊れたんだよ！」～日本語の自他対応動詞 日本語にみられる自他対応動詞について、その認知的意味、および外国語との関係を見ることにより、言葉の認知的基盤を確認する。	日本語以外の自他対応について考えたり調べたりしてくる(90分)	授業の内容を整理して完全に理解する(90分)
担当教員			
第7回	「食べさせられはじめていたらしいわよね」～述語の階層長い用言複合体述語を生産することのできる日本語の特徴をみるとともに、言語がどのような階層をもっており、それに基づいて設計されているかを繙く。	用言の前と後ろにつくことができるものをできるだけ多く見つけてくる(90分)	用言に後接する要素がそれぞれの階層までを許容するか、丁寧に調べてくる(90分)
担当教員			
第8回	「舞台→で→激しく→踊る→人を→見る」vs. “to see ← a person ← dancing ← hard ← on ← the stage”～主要部とそれ以外 言語能力の秘密のひとつである「主要部」について、類型的な偏りを紹介しながら、言語の深奥にふれる。日英語にとどまらず、韓国語・中国語・フランス語まで紹介する予定。	日本語と英語はどこが違うか、具体的に数項目を挙げる(90分)	主要部とそれ以外の順序が例外的である場合を日本語・英語・その他の言語において挙げる(90分)
担当教員			
第9回	「赤ちゃんはどうやって話せるようになるの？」～言語修得について 我々は全くの白紙状態から言語を修得していくのではなく、ほとんど完成した状態で生まれてくるという論を紹介し、議論する。またいわゆる臨界期についても考え直す。	赤ちゃんがことば(特に文法)を修得するときどのように修得するか、一生懸命考えてみる(90分)	「そのあと考えたこと」をがんばって書く(90分)
担当教員			
第10回	「ええっ、あれで『そば』って読むの!？」～日本語の表記ひらがなとカタカナの歴史を講じるとともに、数種の文字を使い分ける表記体系をもつ日本語について改めて考え、漢字の音訓や万葉仮名、キラキラネームのしくみについての見方を変える。また日本語史についても簡単に論じる。	ひらがなとカタカナの歴史について調べる(90分)	万葉仮名と変体仮名について説明できるようにする(90分)
担当教員			

第11回	「日本語はウラル・アルタイ言語です…か？」～日本語のなかま 印欧語における系統樹の考えを基本に説きながら、日本語の系統について、中国語や韓国語との対比を考えながら、一定の結論を出す。	日本語のなかまにはどんな言語があるか、理由つきで考えてくる(90分)	中国語や韓国語との対比を考え、一定の結論を出す(90分)
担当教員			
第12回	「日本語ってひとつじゃないんですか？」～日本語の方言方言圏論などの理論および標準語の歴史を紹介しながら、北海道の方言、および関西の方言、さらには琉球諸語について考える。また方言について、その「役割」について各自が自分のこととして考える。	日本になぜ方言があるのか、考えてくる(90分)	配布課題プリントに基づいて、方言について考えてくる(90分)
担当教員			
第13回	「全然OKって全然OKですか？」～正しい日本語論巷間でよく話題にされる「ら抜き言葉」や「全然+肯定」表現を取り上げ、正しい日本語について一定の妥当な意見をもつことができるようになる。	「正しい日本語」があるかどうか、理由つきで考えてくる(90分)	微妙な日本語・楽しい日本語を見つけてくる(90分)
担当教員			
第14回	「イヌイットの人には雪が見えないって本当ですか」～いわゆる俗説の検討 ほかに「が」と「は」は主語である、「ありがとう」と声をかけると桃が腐らない、などのトンデモ言説を取り上げ、言語リテラシー能力をつける。	事前配布プリントの項目について調査してくる(90分)	しっかりと言語リテラシー能力がついたか、チェックする(90分)
担当教員			
第15回	「コロナってしたらコロコロしたからバーって行ってギョッてしたの」～オノマトペの世界 日本語のオノマトペ(の構造・体系)を中心に、いろいろなオノマトペについて考える。	印象的なオノマトペを調べてくる(90分)	他言語のオノマトペについて調べてみる(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期テストは実施しません。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	課題(レポート、小課題)およびノート、授業参加度などの総合評価とする。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>授業中にハンドアウトを配布する。</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>よくわかる言語学／窪菌晴夫[編著]／ミネルヴァ書房 基礎日本語学／衣畑智秀編／ひつじ書房 はじめて学ぶ言語学／大津由紀雄編著／ミネルヴァ書房</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>教室の中だけでなく、ふだんからいろいろな言葉に興味をもつようにしてください。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		日本語表現技法Ⅱ				ナンバリング	1302/2265
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	演習	単位	1
担当教員	矢部 玲子						
授業の位置づけ							
<p>初年次教育の一環として、幅広い教養を身につけるために、社会で必要となるスキルの一つである文章作成能力を習得する科目である。ディプロマ・ポリシーの「目指す産業界が求める技能に習熟し、実践の場で活用することができる(知識・技能)」ことと特に関係がある科目である。また「4技能(聴く、話す、読む、書く)の運用能力を高め、実践の場で活用することができる(知識・技能)」や、「グローバル社会の人々との信頼関係を構築し、異文化社会に対する正しい理解と協調の精神を持つことができる(関心・意欲・態度)」こととも関係する。</p>							
授業の概要							
<p>この授業は、大学生活の基本となる日本語の文章表現能力を養成する。日本語そのものの基本を押さえた上で、思考法を鍛え、レポート・論文の作成力を修得し、日本語の基礎的な法則を確実に定着させながら、日本語の文章表現の能力を高める。大学生のラーニング・スキルとしての基本となる文章表現能力の学修は、このあとに続く全ての科目の基礎能力となる。また、社会で必要となるスキルのひとつでもある文章作成能力は、外国語学習の基礎力であり、様々な文章の「型」を文章作成と添削および相互批評を組み合わせた実作学習によって習得する。</p>							
到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・社会に存在する様々な文章の「型」について分類することができるようになる。 ・各講義の目標とする文章表現技術を習得し、実際的な文章作成ができるようになる。 ・文の正誤・適否・美醜等が区別できるようになる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 講義形式で、作成する文章の形式を中心に説明を行う。 2. 説明に基づいて実際に各自文章作成・添削・相互評価を、毎時間行う。 3. インタビュー・ドキュメンテーション・投稿・観察等を実際に行い、その結果を文章作成に反映させる。 4. 全授業で数回文章作成能力到達度チェックを行う。 5. 完成させた文章は毎時間提出して担当教員の添削を受け、指定されたものをすべて提出する。 							
ICT活用							
<p>必要に応じて遠隔授業システム等を用いた授業を実施し、ICT技術の修得を促す。</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

公立中学校・高等学校の国語科教師としての勤務経験が約10年あり、学校教育、中でも国語科教育に幅広い知識と経験を有する。左記を活かして指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

作成した課題は原則マンツーマンのセッションを経て添削し受理する。作成した課題の相互評価・自己評価結果のシェアリングによって、成果と課題を可視化する。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	手紙文の型 手紙文の形式を理解し、心情を伝える書式による文章作成を学ぶ。	PP.6-11の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第2回	ビジネス文書の型 ビジネス文書の形式を理解し、用件を伝える書式による文章作成を学ぶ。	PP.12-15の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第3回	三段構成の型 「三段構成で書く」、「常体文で書く」、「一文を40字以内で書く」ことを理解し、これらの書式による文章作成を学ぶ。	PP.16-19の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第4回	原稿用紙を用いた文章作成の型 意見文視写を通して、原稿用紙を用いた日本語表記法に沿った文章作成を学ぶ。	PP.20-23の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第5回	新聞読者投稿欄の文章の型 新聞投書欄の文章作成を通して、客観的な視点で事実を書くことを学ぶ。	PP.24-25の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第6回	見ることと書くことの関係(1) 報道文 身近な事件に関するメモをもとに、報道文を書くことを通して、主観を交えずに客観的な視点で文章を書くことを学ぶ。	PP.26-27の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第7回	見ることと書くことの関係(2) 観察文 身近な対象に関する観察メモをもとに、観察文を書くことを通して、主観を交えずに客観的な視点で文章を書くことに習熟することを学ぶ。	PP.28-29の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第8回	インタビュー書き起こし文の型 履修者同士のインタビューと紹介文の作成を通して、聞き書きの手法による文章作成を学ぶ。	PP.30-33の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第9回	聞き書きの型(1) 前回の「インタビュー」を発展させ、「経験の伝承と継承」をテーマに、特定の人物を対象に、その人物が経験した貴重な内容を聞き書きし、記録する方法を学ぶ。	PP.34-35の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第10回	聞き書きの型(2) 「経験の伝承と継承」をテーマに、特定の人物を対象に、その人物が経験した貴重な内容を本人に代わって記録してもらい、聞き書きとして完成させることを学ぶ。	PP.36-37の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

第11回	論説文の型 論説文の型に沿って文章を作成することを通して、事実と意見を適切に書き分ける方法を学ぶ。	PP.38-41の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第12回	論文に挑戦！(1) 「はじめに」、「各章」、「考察」、「おわりに」等論文の形式や、書くための資料を入手する(ドキュメンテーション)の手法について学ぶ。	PP.42-45の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第13回	論文に挑戦！(2) 前回までの学習を生かし、形式に沿って論文作成に取り組む。	PP.46-47の熟読・理解・課題作成。(90分)	講義の要点・課題の整理・本時の課題文の完成と提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		
第14回	論文に挑戦！(3) 前回までの学習を生かし、論文形式の文章を作成し、完成させる。	PP.48-49の熟読・理解・課題作成。(90分)	指定された提出課題の完成・提出。
担当教員	矢部 玲子		
第15回	添削と推敲—まとめ— これまで学んだ文章表現にかかわる知見に基づき、習得した文章表現能力について、添削と推敲を通して自己評価することを学ぶ。	PP.50-51の熟読・理解・課題作成。指定された提出課題の完成。(90分)	指定された提出課題の完成・提出。(90分)
担当教員	矢部 玲子		

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	行わない。
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	作成した文章のうち指定されたもの(100%) 指示された課題をすべて提出した場合、評価の対象とする。

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>出席率66%以上を評価対象とする。</p>
<p>教科書</p>		
<p>「型」で身につける文章作成技術／矢部玲子／大学図書出版</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>必要に応じて提示する。 必要に応じて教材配信システム等ICTを活用する。</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>状況に応じて講義内容や順番等が変更される場合がある。 出席率66%以上で、指示された課題をすべて提出した場合、評価の対象とする。 連絡はGoogle classroom で行う。メールが届いたか、返信は必要か、等を常にチェックするように。 メールでの問合せ等には必要に応じて対応する。 メールでの言葉遣いには十分に注意すること。不適切な言葉を使用した場合は、減点の対象とし、度重なる場合は単位認定しない場合もある。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修A					
科目名		ホスピタリティ論				ナンバリング	3722/3558
配当年次	1年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員		小山田 健					
授業の位置づけ							
<p>ホスピタリティの基本を学び、グローバルな視点でも理解を深めホスピタリティマインドの実践のための科目である。世界各地の活性化につなげるための異文化コミュニケーションを身につけ、グローバル社会の中で世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えるための科目である。また、本科目は、ディプロマポリシー「北海道、日本及び世界諸地域の課題とその分析や解決を考えることのできる、世界諸地域の言語、政治、経済、社会、文化等の国際教養を身につけている(知識・技能)」等に関連する科目である。</p>							
授業の概要							
<p>この授業は、相手の気持ちや望みを素早く読み取って、心からおもてなしするホスピタリティは、AIにはできない人間ならではの行動だといわれる。この授業では、おもてなしの心は「相手に喜んでもらうことが自分の喜び(ホスピタリティーマインド)」になり、それが他者や社会の貢献になることを演繹的に学んでいく。航空関係や宿泊業、医療機関などサービス関係の仕事に限らず、多くの企業が経営方針にホスピタリティ教育に取り入れ、それが職場環境を好転させること(ホスピタリティマネジメント)の重要性をあげている。この授業では、TDRのキャストを事例に、おもてなしで顧客の満足度が向上することで、個人のホスピタリティマインドが生まれ、それがスタッフ間においても喜びを与えるようになり、自分自身も誇りや働きがいを持つようになる、といった循環モデルを学び、自ら相手の立場に立って物事を考え、さらに深いニーズに応じて相手を喜ばせていく仕事観や生き方を考えていく。</p>							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1. ホスピタリティの基本と重要性が理解できる。 2. ホスピタリティを理解し就職活動に役立てることができる。 3. 企業・職種・身近な生活にもホスピタリティが存在し、理解することで実践することができる。 							
授業の方法							
<ol style="list-style-type: none"> 1. 準備学習の確認 2. 講義形式 3. 個人ワーク、グループディスカッション、プレゼンテーション 4: 事後学習課題 							
ICT活用							
資料提示や情報収集のために、スマートフォンなどを使用する場合がある。本学が推奨するものや、zoomなども取り入れていく。							
実務経験のある教員の教育内容							

約20年間民間企業等で、観光や広告宣伝部門の業務に携わる。また、直近の5年間は、学生が地域をフィールドに、街の活性化に取り組む学外実践授業のコーディネーターとして、40以上のプロジェクトの実施とサポートを行う。また、日本PBL研究所のアドバイザー資格を有し、講師なども担当している。

課題に対するフィードバックの方法

授業内で行う。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション →授業の進め方・評価方法・受講時の留意点	ホスピタリティとは何かを考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第2回	ホスピタリティの社会的背景と重要性を理解する	自分が体験したホスピタリティについて考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第3回	ホスピタリティを高めるために基本の接遇マナーを学ぶ I →第一印象の重要性	身近なマナーについて考えておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第4回	ホスピタリティを高めるために基本の接遇マナーを学ぶ II →話の聞き方、話し方	自己紹介の内容をまとめておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			

第5回	プレゼンテーションⅠ →観光とホスピタリティ/各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第6回	プレゼンテーションⅡ →観光とホスピタリティ/各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第7回	プレゼンテーションⅢ →観光とホスピタリティ/各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第8回	プレゼンテーションⅣ →観光とホスピタリティ/各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第9回	プレゼンテーションⅤ →観光とホスピタリティ/各都道府県の観光地・特産品・風習などをプレゼンテーションする	プレゼンテーション準備(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第10回	観光地のホスピタリティⅠ →コロナ禍における最新の事例を報告。レポート提出	小樽の観光協会が行うおもてなしの取り組みについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			

第11回	観光地のホスピタリティⅡ →コロナ禍における最新の事例を報告。レポート提出	富良野の観光と、グローバルコミュニケーションについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第12回	観光地のホスピタリティⅢ →コロナ禍における最新の事例を報告。レポート提出	札幌の観光と、新千歳から海外へ就航するフライト便について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第13回	ホテル業界のホスピタリティ	興味関心のあるホテルについて調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第14回	飲食業界のホスピタリティ	よく行く飲食店について調べておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
第15回	これまでの講義の振り返りと最終レポート →チーム編成をして、これまでの振り返りのためのディスカッションと発表を行う →最終レポート提出	これまでの授業内容を復習しておくこと(90分)	授業内容を復習しまとめておくこと(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	なし	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	70	準備学習の状況、授業態度、授業意欲、グループディスカッション、各授業内でのレポート、プレゼンテーション、事後学習の状況	

<p>その他</p>	<p>30</p>	<p>最終レポート(これまでの授業の理解度の確認。レポートのテーマについては最終日に伝える)</p>
<p>教科書</p>		
<p>なし</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>随時配布</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>ホスピタリティを学ぶ授業であるため、大学の基本事項となる授業の無断欠席や、遅刻等が多い学生の履修はNGとします。</p>		
<p>備考欄</p>		
<p></p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修A					
科目名		異文化理解論 I				ナンバリング	3744
配当年次	3年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 淳						
授業の位置づけ							
この授業は「世界と地域の視点から、自然環境、社会、文化、歴史等についての高度な専門知識を身につけている。(知識・技能)グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や柔軟で前向きなコミュニケーション能力を備えている。(関心・意欲・態度)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、世界の言語とその背景にある文化や社会の多様性を学びながら、異文化理解への理解を深める科目である。							
到達目標							
学生が、異文化を背景に持つ他者への理解を深め、他者とのコミュニケーション能力を獲得することを到達目標とする。							
授業の方法							
印刷配布物や視聴覚資料を用いて講義形式で進める。 授業で得た知識や自分で調べた情報をもとに、自らの考えをまとめるレポートを書かせる。 授業全体の理解度、応用力、独自の考えが生まれたのかを小論文で確かめ、そのフィードバックを行う。							
ICT活用							
授業内容に関連するホームページや動画など。動画等の視聴による自主学習支援。							
実務経験のある教員の教育内容							

課題に対するフィードバックの方法			
代表的なレポート課題や小論文などを抽出し、それらについてコメント・講評などを行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	オリエンテーション	シラバスを良く読み自分の問題意識を整理すること。自分の関心事のプレゼンの準備(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第2回	世界の言語、宗教などの文化的な広がり俯瞰する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第3回	交流から生まれる文化:自文化と他文化の関係性から異文化を考える。 日本の文化が世界とのどのような交流によって生成しているか学生に考えさせ、史実に沿って学習しながら、日本の文化に内在する世界のさまざまな文化や価値観への気づきを促す。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第4回	東アジア地域の文化:日本の文化と東アジア地域のつながりについて	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			

第5回	東南アジア地域の文化:日本とのつながりと歴史の多層性と文化的多様性について 映像資料を用いて、音楽や芸術などの日本との類似点について、中国も含めた大きな文化交流の視点から考えさせる。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第6回	南アジア地域の文化:日本とのつながりと多言語主義について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第7回	西アジア地域の文化:ペルシアとイスラームの思想と文化について 担当教員が実際に中東に行った時の体験談や撮影した写真から、学生のイメージと実際の現地の実態のギャップを考察させ、世界の文化の多様性や奥深さへの気づきへと導く。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第8回	西ヨーロッパ地域の文化:古代ギリシア・ローマとルネサンス以降の文化について ルネサンスや宗教改革が、イスラームやモンゴルなどの外部世界との交流によってもたらされていることを、具体的な史実に沿って学習し、ヨーロッパ文化にとっての異文化の意味を考察する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第9回	イギリスの文化:英語発祥の地の歴史と文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第10回	コモンウェルス文化:英連邦の文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			

第11回	アメリカの文化(1)超大国の歴史と文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第12回	アメリカの文化(2)現代社会の文化と表現について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第13回	グローバル空間での新しい文化の生成:IT時代のコミュニケーション文化について	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第14回	これまでの振り返りと、各自の考えをまとめる小論文の作成	これまでの全ての授業の内容とそれに対する考えを自分なりに整理しておくこと。(90分)	小論文の内容について振り返り思ったように書けたのか検証する。(90分)
担当教員			
第15回	小論文の講評とグローバル化時代の文化へのアプローチ	自分の小論文をこれまでの授業内容から自分なりに評価してみること。(90分)	フィードバックを参考に自分なりにこの授業で得た知識を考えをまとめておくこと。(90分)
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	定期試験は実施しない。	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業態度と積極性20% 授業課題で提出するレポート50% 小論文30%	

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>なし</p>
<p>教科書</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>異なる複数の文化の相違点に関心を持つ学生の参加を歓迎する。</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修B					
科目名		地域研究 I				ナンバリング	3608
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Richardson Peter						
授業の位置づけ							
<p>英米語コースでは、英語を実践的に運用できる知識とスキルを身につけている。(知識・技能) 観光・ビジネスコースでは、グローバルに展開する当該業界を理解し、実践に応用可能な知識および英語の技能を身につけている。(知識・技能)</p>							
授業の概要							
<p>この授業は、日本の近代化にも大きな影響を与え、EUからの離脱で注目されるイギリス。英語が誕生した国でもあり、かつて世界の半分以上を支配していたと言われたイギリスの歴史や文化は、日本のみならず世界に大きな影響を与えている。本講義では、イギリスの社会と文化の伝統の持つ豊かさと同時に、多くの分野でいまだに世界の新しいトレンドを作り出している現代イギリスの現状について、その本質を理解することを目的とする。ヨーロッパとの関係性の理解も重要となってくる。</p>							
到達目標							
<p>The goal of the course is to develop students' knowledge about Britain's geography, history, political structure, popular culture, security issues, and the influence of particular religious beliefs through lessons that are conducted entirely in English.</p>							
授業の方法							
<p>Lectures, vocabulary building, discussions, and student presentations will be the main components of this class.</p>							
ICT活用							
<p>The class will make use of Google Classroom to provide access to course material. Video content will also be shown to students at certain points in the course.</p>							
実務経験のある教員の教育内容							

none			
課題に対するフィードバックの方法			
Answers to the tests will be given after the tests have been completed, graded tests will be shown to students, and feedback will be provided on student presentations.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Explanation of the syllabus and introduction to the course.	Read the syllabus and note down any questions you want to ask. 90分	Review the content of the syllabus and reflect on the themes and goals. 90分
担当教員			
第2回	This lesson will focus on an overview of some of the key aspects of the United Kingdom.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第3回	The focus on this class will be the UK's population, including the number of people, their social and ethnic backgrounds, political affiliation, religious beliefs, and distribution.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第4回	In this lesson we will explore British cuisine. This will include a look at some of the dishes and drinks that are most associated with the UK, in addition to types of food that are currently popular.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			

第5回	This class will focus on the British countryside and some of the most famous scenic spots and their significance with a special focus on Stonehenge and its historical, religious, and social significance.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第6回	This class will focus on current security issues facing the UK and the structure of the intelligence services. The second half of the lesson will focus on the influence of the British intelligence services on popular culture.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第7回	Students will make their presentations on a topic related to British culture.	Prepare for the presentation and begin preparing for the midterm test.	Reflect on the feedback provided on the presentation and prepare for the midterm test.
担当教員			
第8回	Students complete the midterm test.	Prepare for the midterm test.	Reflect on the midterm test and avenues for improvement.
担当教員			
第9回	This lesson focuses on Westminster Abbey, its history, and the historical figures associated with it.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第10回	This lesson focuses on iconic figures in the UK's popular culture.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分.	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			

第11回	This lesson focuses on formative moments for the UK in the twentieth and twenty first centuries. These include World War 2, the Falklands War, the conflict in Afghanistan, Brexit, and COVID.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分.	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第12回	This class looks at the UK tourist industry with a special focus on the Lake District.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分.	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第13回	This class continues the focus on the UK tourism industry, but this time shifts the focus to the West Highland Way in Scotland.	Study the course content for this week's lesson and check any words you do not understand. 90分.	Review lesson, readings, and vocabulary. 90分
担当教員			
第14回	Students will make their final presentations on a topic related to British culture.	Prepare for the presentation and begin preparing for the final test.	Reflect on the feedback provided on the presentation and prepare for the final test.
担当教員			
第15回	Students complete the final test.	Prepare for the final test.	Reflect on the course content as a whole and in particular think about the final test and avenues for improvement.
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	participation: 20%; midterm assessments: 40%; final assessments: 40%	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>none</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>none</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修B					
科目名		地域研究Ⅱ				ナンバリング	3609
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	Walzem Allen George						
授業の位置づけ							
世界各地域の言語、政治、経済、社会、文化に関する国際教養(知識・技能)を身につけ、北海道や日本、世界各地域の課題とその分析・解決策を考えることができる。							
授業の概要							
この授業は、戦後日本にとって最も重要な国であるアメリカ合衆国について、理解を深めることを目的とする科目である。アメリカはその歴史的背景と形成過程からきわめて多様な社会であり、アメリカの多様性を理解することは、世界の今後を考える上でも重要な項目である。アメリカ文化を、人種、ジェンダー、階級、宗教、アイデンティティなどの視点から再考察し、それらが現代のアメリカの政治経済にどのようにつながっているのかを理解する。							
到達目標							
Students will improve listening comprehension skills, learn a lot of daily use vocabulary, and study about 150 natural spoken idioms, as well as learning about changes in the representation of family life in American media over the last 70 years. Students will better understand western culture and communication patters, as well as learning about how the media industries work.							
授業の方法							
There will be weekly handouts with vocabulary and idioms. Students will practice a dialog every week which uses newly studied idioms. Students will be expected to preview for each lesson diligently. The class itself will feature a lot of English only lecture, and watching of short television clips.							
ICT活用							
There will be regular media examples (TV, movie clips, Youtube, etc). Students can interact digitally while working on projects.							
実務経験のある教員の教育内容							

Not part of teacher training curriculum. However, this class will improve knowledge of American culture, English language, and colloquial usage, so useful for teachers in training.

課題に対するフィードバックの方法

Students will receive daily oral feedback during class time, plus graded quizzes and tests, and written responses.

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	Introduce topic and Syllabus “Speak English Like an American” 1	Prepare “Speak Like an American” unit 2, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第2回	Birth of TV, the 50s—I love Lucy, Donna Reed, Father Knows Best	Prepare “Speak Like an American” unit 3, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第3回	Sixties: from Beaver to Munsters and Adams’ s—The Andy Griffith Show	Prepare “Speak Like an American” unit 5, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第4回	70s Part 1: New Sitcom familys: More clean, white, attractive, and idealized---Bradys, Partridge, Happy Days	Prepare “Speak Like an American” unit 5, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			

第5回	70s Part 2: Introducing Politics and Race--All in the Family, Good Times	Prepare "Speak Like an American" unit 6, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第6回	80s part 1: New Kinds of Happy Families: The Cosby Show, Full-house, Family Matters	Prepare "Speak Like an American" unit 7, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第7回	80s part 2: Darker side: From political intra family conflict of Family Ties to the first Anti-family family: Married with Children	Review, review, review!! (90 minutes)	Study for midterm!!! (at least 90 minutes)
担当教員			
第8回	Midterm	Prepare "Speak Like an American" unit 8, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第9回	90s: Going where other sitcoms couldn't: The Simpsons	Prepare "Speak Like an American" unit 9, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第10回	90s part 2: Looking at "real America"? Roseanne	Prepare "Speak Like an American" unit 10, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			

第11回	Beyond the Simpsons: 2000s-- Weird Animation and attack on tradition--- South Park and Family Guy	Cumulative review of Speak Like an American 1-10 (90 minutes or more)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第12回	Looking at "difference" in sitcoms: Modern Family	Prepare "Speak Like an American" unit 11, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第13回	Class in sitcoms: Schitt's Creek, Beverly Hillbillys	Prepare "Speak Like an American" unit 12, learn vocabulary and idioms (90 minutes)	Review new idioms and vocabulary, prepare for quiz (90 Minutes)
担当教員			
第14回	Review	Cumulative review of idoms. (90 minutes)	prepare for final!! (as much as possible, at least 90 minutes)
担当教員			
第15回	Final	Make sure all late work is finished! Review materials (90 minutes)	Turn in final work to teacher. Think about your future for 90 minutes.
担当教員			
成績評価の方法			
区分	割合 (%)	内容	
定期試験	0		
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Midterm 35 Final 35 quizzes, response papers, and Participation 30	

その他	0	
教科書		
参考文献		
履修条件・留意事項等		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 選択必修B					
科目名		地域研究IV				ナンバリング	3709
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	渡部 淳						
授業の位置づけ							
この科目は「北海道、日本及び世界諸地域の課題とその分析や解決を考えることのできる、世界諸地域の言語、政治、経済、社会、文化等の国際教養を身につけている。(知識・技能)」や「グローバル社会の中で、世界の人々と共生・協働することを可能とする国際性や共感性を備えている。(関心・意欲・態度)」等に関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、近代世界において重要な役割を果たしたヨーロッパ地域の社会と文化の特色について学習する。近代の思想や制度の重要な柱であるヨーロッパの社会と文化について学ぶことは、現代の私たちが寄って立つ国家や社会の考え方が、どのような背景から生まれてきたのかを理解することでもある。北海道とも経済的な結びつきを強めているヨーロッパ地域の特徴について、ヨーロッパ全体と各国について具体的に学ぶ。							
到達目標							
学生が、ヨーロッパの地域文化の特徴についてある程度の具体的事例を挙げて説明することができることを到達目標とする。ヨーロッパの文化の全体的共通性と各国や各地域の違いについて、具体的かつ抽象的に論じることができるようになることを目的とする。							
授業の方法							
印刷配布物や視聴覚資料を用いて講義形式で進める。 授業で得た知識や自分で調べた情報をもとに、自らの考えをまとめるレポートを書かせる。 授業全体の理解度、応用力、独自の考えが生まれたのかを小論文で確かめ、そのフィードバックを行う。							
ICT活用							
ヨーロッパ地域文化に関連する国家や機関、NGOなどのホームページ、動画等。動画等の視聴による自主学习支援。							
実務経験のある教員の教育内容							

なし			
課題に対するフィードバックの方法			
代表的なレポート課題や小論文などを抽出し、それらについてコメント・講評などを行う。			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	・導入～「ヨーロッパとは何か？」 ヨーロッパという概念の強力さと曖昧さに私たちはあまり真正面から向き合っていない。明らかに近代世界の意味の中心の一つであるヨーロッパとは通史的にどのような存在であったのか。また経済的に縮小する現在のヨーロッパが文化や国際社会で果たしている役割について外観する。	シラバスを良く読み自分の問題意識を整理すること。自分の関心事のプレゼンの準備 (90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第2回	<第1部 古代ギリシア・ローマ> ・古代ギリシア～ヨーロッパ思想の起源 古代ローマや中世イスラーム世界にも大きな影響を与えた古代ギリシア世界の思想・哲学は、今日の世界においても知の大きな一角を占めるものである。ソクラテス、プラトン、アリストテレスを始めとした現代の学問にもつながる、古代ギリシア世界の思想と科学の系譜を俯瞰する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第3回	・古代ローマ～「ヨーロッパ」の範囲の原型としてのイギリス産業革命までその文明の水準にヨーロッパが及ぶことがなかった古代ローマは、のちのEUにまでつながる広域ヨーロッパの一つの原型である。その古代ローマの技術、社会、文化、宗教の変遷などから、今日に至るその版図に共通する文化を「古代ローマの跡地としてのヨーロッパ」をキーワードに解説する。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第4回	<第2部 中世ヨーロッパ・ルネッサンス> ・中世ヨーロッパ～帝国が滅びた後に残る文化圏域としての西ローマ帝国が滅亡した後も、ローマ帝国の国教であったキリスト教はこの地域の文化と社会の支柱として、ヨーロッパを覆うものとして残っていく。暗黒時代ともいわれる中世ヨーロッパの世界観について、各分野の特徴から迫っていく。	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			

第5回	<p>・ルネサンス～イスラムとの交流と再発見のプロセス ヨーロッパ文化の一つの特徴として、外部世界の文化の接触や影響を精力的に飲み込み、自分の文化に取り入れて活力とする雑種性が挙げられる。ルネサンスは、十字軍などのイスラムとの交流の中から、異文化の中に自文化の起源を発見する過程として、その後のヨーロッパ文化を花開かせる大きな起点となる。そのダイナミズムを追う。</p>	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第6回	<p>・プロテスタンティズムと資本主義の発生 イスラムとの交流とならんで、ヨーロッパにインパクトを与えたものとしてモンゴルの侵攻が挙げられる。ペストの拡大や、神や教会、身分制の失墜は大きな社会変化としての宗教改革を巻き起こす。そして、プロテスタンティズムは今日の資本主義につながる思想と行動を内包していることに、ウェーバーを手がかりに接近する。</p>	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第7回	<p>・ヨーロッパ芸術に見る南から北への流れ 古代から中世、そしてルネサンスまで長い間アルプス山脈はヨーロッパの文化と文明を分ける大きな地理的境界線であった。ヨーロッパの芸術が、北から南への憧れで生成してきた側面、また南が芸術の発展について大きな原動力になってきた様子を具体的な事例を挙げながら解説する。</p>	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分) 配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第8回	<p><第3部 現代ヨーロッパの各国文化> ・イタリア かつてローマ帝国の中心だったイタリア。その帝国時代から続く人々や文化の交差点としての役割は、古くてそして新しいイタリアの魅力として、今日も変わることなく息づいている。難民や移民にも比較的寛容と言われるイタリア人気質の根本に各分野の事例から迫る。</p>	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第9回	<p>・スペイン・ポルトガル かつて世界を二分した海洋大国のポルトガルとスペイン。戦国時代から江戸時代にかけては、この両国の言葉が世界共通語の役割を果たすほどであった。海に囲まれた二つの国と日本との繋がりも多く、食文化や音楽など幅広い分野において共通点も多い。イベリア半島の文化と社会を考察する。</p>	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)
担当教員			
第10回	<p>・フランス～近代化の共通語 近代国家として、官僚制や常備軍などを整え、近代以降のドイツ語や英語などに様々な語を提供したフランス語。最先端のファッションや食が彩るパリから、美しい田舎の数々まで、フランス的なるものとは何か、その魅力と特徴について学ぶ。</p>	レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)	配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)0
担当教員			

第11回	<p>・ドイツ 法律や医学の分野で日本も大きな影響を受けたドイツ。プロイセン、ワイマール、ナチスそして現代ドイツと目まぐるしく変遷する近代以降のドイツ社会の特徴は何か。また、ドイツのなるものを定義するものとは何か。私たちとも、そして英語とも関係が深いドイツ文化について、各分野の事例を引きながら考察する。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第12回	<p>・イギリス 産業革命が始まった地として、日本の近代化に大きな影響を与えたイギリス。連合王国として様々な言葉や文化を融合させながら7つの海を支配した大英帝国を築き上げた、小さな島の文化的な多様性とは何か。世界最古の議会制民主主義の国の知っているようで知らない奥深さを、その伝統と革新から考察する。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第13回	<p>・北欧の文化 教育、福祉など豊かな生活が目される北欧。その背景にある激しい歴史と厳しい自然環境は、意外と知られることがない。税金が重く、国民が幸せなこの地域に共通する社会哲学や文化とは何か。人間がより人間らしく、人間が幸せになるためのヒントを北欧の人々の思想と実践を学ぶ。</p>	<p>レポート課題など指定された課題を行うこと。(90分)</p>	<p>配布プリントと講義の内容をノートなどで復習すること。(90分)</p>
担当教員			
第14回	<p><第3部 あなたのヨーロッパ地域文化論> ・小論文による理解度と応用力の確認 ヨーロッパ地域文化の特定の時代や場所が他より重要ということはありません。ヨーロッパのどこに焦点を合わせ、どう考えるかは一人ひとりの自由です。小論文でヨーロッパ地域文化から何を学んだか、考えたのか書く。</p>	<p>これまでの全ての授業の内容とそれに対する考えを自分なりに整理しておくこと。(90分)</p>	<p>小論文の内容について振り返り思ったように書けたのか検証する。(90分)</p>
担当教員			
第15回	<p>・まとめ～「ヨーロッパと世界」 学生の皆さんから出された、いろいろな形のヨーロッパ文化論から、私たちがヨーロッパをどう見ているのか、そして世界とのつながりをどのように感じているのか、一緒に考え議論しながら授業のまとめを行う。</p>	<p>自分の小論文をこれまでの授業内容から自分なりに評価してみること。(90分)</p>	<p>フィードバックを参考に自分なりにこの授業で得た知識を考えをまとめておくこと。(90分)</p>
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	定期試験は行わない。
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	授業参加の積極性20% 課題提出状況50% 小論文形式のテスト30%

その他	0	なし
教科書		
参考文献		
履修条件・留意事項等		
<p>ヨーロッパ地域の社会や文化にさまざまな形で興味関心を持つ学生を歓迎します。</p>		
備考欄		

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		専門科目 専門科目					
科目名		英語多読I				ナンバリング	2300
配当年次	2年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	高橋 保夫						
授業の位置づけ							
英米語コースでは、英語を実践的に運用できる知識とスキルを身につけている、という【知識・技能】と関連する科目である。							
授業の概要							
この授業は、身の回りで起きている事象に関するさまざまなジャンルの英文テキストに対する読解能力の向上を目的とする。授業では、高い構文把握能力及び語彙力の増強の他、既有知識を用いて理解を促す読解方略の習得を目指す。							
到達目標							
To be able to read and understand English texts of various genres using their existing knowledge, and to gain information about events happening around them while expanding their syntactic grasp and vocabulary.							
授業の方法							
This is a lecture class where students will listen to the teacher's instruction and do exercises from the textbook. Based upon the activity, student will engage in pair-work, group work as well as work individually on various tasks.							
ICT活用							
This class utilizes Google Classroom as a Learning Management System (LMS).							
実務経験のある教員の教育内容							

Not applicable			
課題に対するフィードバックの方法			
The teacher will give feedback by explaining the answers of the exercises, commenting on students' performance, and grading assignments.			
授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	In this class, students will learn how to proceed with the class, assignments, and evaluation.	Check the LMS, read the textbook and create questions for the teacher. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第2回	In this lesson, students will practice skills such as scanning numbers and using T-charts while reading reports and online articles.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第3回	In this lesson, students will practice previewing and other skills while reading articles and online posts.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第4回	In this lesson, students will review, expand, and deepen the learning you did in Units 1-2.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第5回	In this lesson, students will practice their skills in searching for main ideas and making inferences while reading online articles and essays.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第6回	In this lesson, students will read excerpts from books and articles to practice their skills in reading for details and using their knowledge to predict content.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第7回	In this lesson, you will review, expand and deepen the learning you did in Units 3-4.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第8回	In this lesson, students will practice skills such as scanning online articles and posts to predict content while reading.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第9回	In this lesson, students will read questionnaires and online art files, derive meaning from context, and annotate.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第10回	In this lesson, you will review, expand, and deepen the learning you did in Units 5-6.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			

第11回	In this lesson, students will practice skills such as using a Venn diagram while reading a blog post.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第12回	In this lesson, students will practice skills such as identifying the author's purpose while reading an online article or essay.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第13回	In this lesson, you will review, expand, and deepen the learning you did in Lessons 7 and 8	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第14回	In this lesson, you will review, expand and deepen the learning you have done in lessons 2 through 13, and prepare for the in-class test.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, adjust study plan. (90 minutes)
担当教員			
第15回	In this lesson, students will summarize the class and take an in-class exam.	Check the LMS, read the textbook and do the assigned exercises. (90 minutes)	Review notes and the textbook, reflect upon study plan. (90 minutes)
担当教員			

成績評価の方法

区分	割合(%)	内容
定期試験	0	No such test
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	Weekly quizzes: 50 In-class test: 50

<p>その他</p>	<p>0</p>	<p>Not applicable</p>
<p>教科書</p>		
<p>PRISM READING, Michele Lewis & Richard O'Neil, CAMBRIDGE</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>Will be handed out in class</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>Not applicable.</p>		
<p>備考欄</p>		

2023 北海道文教大学 シラバス

2023 北海道文教大学 シラバス							
学部・学科		外国語学部 国際言語学科					
区分		教育の基礎的理解に関する科目等 教育実践に関する科目					
科目名		教職実践演習(中・高)				ナンバリング	3604
配当年次	4年	開講学期	2023年後期	区分	講義	単位	2
担当教員	常田 拓孝						
授業の位置づけ							
教職にふさわしい知識と技能, 教職をめざす姿勢の獲得について, 4年間の単位取得状況や関連科目の成績等の到達点を踏まえ, 教員免許取得に求められる大学教育としての到達目標を達成することを目標と科目である。							
授業の概要							
教職課程科目としての様々な科目や教職に関わる活動を通じて学生が身につけた資質能力について整理, 統合し, 教師としての目標を定め, その実現に向けて学ぶ科目である。教育実習で明らかになった課題に基づき, インターンシップを取り入れ, 実践的な技能や方法について学ぶ。							
到達目標							
<ol style="list-style-type: none"> 1 授業を進める上での実践的スキルを獲得することができる。 2 学級・学校の実際について理解し, 実践力や指導力量の向上策を挙げることができる。 3 積極的なコミュニケーションとプレゼンテーションの技能を獲得できる。 							
授業の方法							
配布物を用いて, 講義形式及びグループワークでの学修を進める。							
ICT活用							
なし							
実務経験のある教員の教育内容							

中学校教員を務め、学校運営、学校経営の経験が長く、教員養成に関して幅広い知識を有している。学校教育全体のあり方、期待される教員等について、実際教員となって必要な知識、態度等について指導を行う。

課題に対するフィードバックの方法

学生自らが描く教師のあり方をふまえ、教員生活の充実を図るようアドバイスする。

授業計画	学習内容	準備学習の内容および時間(分)	事後学習の内容および時間(分)
第1回	【オリエンテーション】教育実習を振り返り、教育課題について交流し、教師の求められる資質、能力について再確認する。	教育実習の内容を振り返っておくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第2回	【総合的な学習の時間 その1】「総合的な学習の時間」の目標や内容について学習指導要領より改めて確認する。各自が学習計画を立案する。	学習指導要領の内容を振り返っておくこと(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第3回	【総合的な学習の時間 その2】各自が立案した学習計画をグループごとに提案し合い、グループでの学習指導計画を立案する。	各自が立案した指導計画を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第4回	【総合的な学習の時間 その3】グループごと立案した学習指導計画を発表し、意見交換を行い、交流し、相互評価を行う。	グループで立案した学習指導計画を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第5回	【インターンシップに備えて】インターンシップの目標、内容を理解し、教職課程の集大成としての参加の仕方、学修方法について理解する。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第6回	【インターンシップ その1】3日間、教育実習の経験、これまでの教職課程等の学修をふまえ、地域の中学校でのインターンシップに参加する。授業等の補助、教材づくり、学級活動への参加をとおしての生徒理解、教員の学校実務、業務の補助をとおしての理解などについて学ぶ。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	これまでの学修資料の復習、中学校での一日を振り返ること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第7回	【インターンシップ その2】3日間、教育実習の経験、これまでの教職課程等の学修をふまえ、地域の中学校でのインターンシップに参加する。授業等の補助、教材づくり、学級活動への参加をとおしての生徒理解、教員の学校実務、業務の補助をとおしての理解などについて学ぶ。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	これまでの学修資料の復習、中学校での一日を振り返ること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第8回	【インターンシップ その3】3日間、教育実習の経験、これまでの教職課程等の学修をふまえ、地域の中学校でのインターンシップに参加する。授業等の補助、教材づくり、学級活動への参加をとおしての生徒理解、教員の学校実務、業務の補助をとおしての理解などについて学ぶ。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	これまでの学修資料の復習、中学校での一日を振り返ること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第9回	【インターンシップ その4】3日間、教育実習の経験、これまでの教職課程等の学修をふまえ、地域の中学校でのインターンシップに参加する。授業等の補助、教材づくり、学級活動への参加をとおしての生徒理解、教員の学校実務、業務の補助をとおしての理解などについて学ぶ。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	これまでの学修資料の復習、中学校での一日を振り返ること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第10回	【インターンシップ その5】3日間、教育実習の経験、これまでの教職課程等の学修をふまえ、地域の中学校でのインターンシップに参加する。授業等の補助、教材づくり、学級活動への参加をとおしての生徒理解、教員の学校実務、業務の補助をとおしての理解などについて学ぶ。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	これまでの学修資料の復習、中学校での一日を振り返ること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		

第11回	【インターンシップ その6】3日間、教育実習の経験、これまでの教職課程等の学修をふまえ、地域の中学校でのインターンシップに参加する。授業等の補助、教材づくり、学級活動への参加をとおしての生徒理解、教員の学校実務、業務の補助をとおしての理解などについて学ぶ。	「インターンシップの実施」についてを読み込んでおくこと。(90分)	これまでの学修資料の復習、中学校での一日を振り返ること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第12回	【インターンシップ報告会 その1】経験したインターンシップで学んだこと、明らかになった教育課題について交流し、相互評価する。	「インターンシップの報告」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第13回	【インターンシップ報告会 その2】経験したインターンシップで学んだこと、明らかになった教育課題について交流し、相互評価する。	「インターンシップの報告」を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第14回	【教職課程を学んで その1】4年間の教職課程の学修を終えて、自らが学んだこと、社会人生活に活かしたいことなどを発表しあい、教職課程の学修についてまとめる。	「教職課程を学んで」を用意しておくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
第15回	【教職課程を学んで その2 教職課程のまとめ】4年間の教職課程の学修を終えて、自らが学んだこと、社会人生活に活かしたいことなどを発表し合い、教職課程の学修についてまとめる。また、教職課程の学修全体の成果等を確認する。	これまでの配付資料を読み込んでおくこと。(90分)	配付資料の復習をすること。(90分)
担当教員	常田 拓孝		
成績評価の方法			
区分	割合(%)	内容	
定期試験	0	実施しない	
定期試験以外(授業内容の課題・参加度・出席態度等)	100	交流資料、発表資料等の成果によって行う。	

<p>その他</p>	<p>0</p>	
<p>教科書</p>		
<p>1 講義用資料を配付する。</p>		
<p>参考文献</p>		
<p>1 中学校, 高等学校学習指導要領 / 文部科学省</p>		
<p>履修条件・留意事項等</p>		
<p>なし</p>		
<p>備考欄</p>		